



東日本大震災の被災地（釜石市・大槌町）を訪ねて

尼崎市立武庫小学校 濱田康助

私は、先月、土・日（2 / 16・17）を利用し、東日本大震災被災地（釜石市・大槌町）を訪ねてきました。ボランティア活動ではなかったのですが、震災から2年が経過しようとする今の被災地の状況を見ておきたいとの思いからでした。訪ねたのは鉄鋼の町、釜石市とその北にある大槌町でした。

大槌町では、旧大槌町役場（町長さんを含め40人の職員が亡くなられた）の前で、地元の方（臼沢さん）からお話をうかがいました。町は今でも見渡す限り住居等の建物はほとんど再建されておらず、残されたままのいくつかの建物の残骸や撤去された家の土台だけが残る平地が広がっている状況でした。臼沢さんからは、建物の3階まで到達した津波の状況や避難の困難な状況等々を伺うと共に、臼沢さんの最愛の人を役場で失ったことなどを話してくださいました。お話の最後に言われた言葉は、「避難する時、自分の大切な人を連れて逃げてください」、「大切と思う人を毎日大切にしてください」でした。私はこの言葉を忘れません。私も実行します。

釜石市や市の唐丹地区を案内くださったボランティアガイドさんからは釜石市の津波避難所の状況を案内いただいたり、「釜石の奇跡」（釜石市立釜石東中学校と鶴住居小学校の全児童生徒が無事に避難し生きのびた）のお話をうかがいました。「釜石の奇跡」は、奇跡的な偶然で出来たことではなく、日頃から行っていたいろいろな取組から生まれた結果であったこと。その中で、副校長が職員に指示された「率先避難者」としての行動は、とても印象的でした。「伝えつなぐ大津波」の碑に書かれていた上野さん（中学2年生）の言葉「100回逃げて、100回来なくても101回目も必ず逃げて！」、本校児童にもしっかりと理解させたい、理解してほしいと思いました。

2日目、旅館「宝来館」の女将（岩崎昭子）さんのお話で、「被災地が立ち上がるためにも被災地へ来てください」の言葉は私に元気をくれました。また、「釜石の奇跡」関連のお話で、副校長が子どもたちを送り出すときに、「逃げれ」と言わずに「生きれ」と言われて送り出されたことを紹介いただき、胸が熱くなりました。今回の訪問中に、子どもたちが元気に遊ぶような姿をほとんど見ることはできませんでした。子どもを含め、多くの人達が活発に往来することが被災地を、東北を元

気にすることと強く感じました。

今回学ばせて頂いたことは、今後の防災教育に活かすと共に、多くの皆さんに観光等で東北へおおでをふって出かけるよう勧めていきたいと思いました。

以上の文章は、すでに学校のホームページに載せたものを紙面の都合から再編集したものです。先日の朝会でも、全児童にこの一部を紹介し、「自分の命を自分で守れるよう」伝えたところです。よろしければ学校ホームページをご覧ください。

学校評価アンケートへのご協力有り難うございました

先日実施しましたアンケートへのご協力、本当に有り難うございました。現在、集計と分析を行っております。近日中に、集計結果等を学校便り（臨時号）でお知らせします。全体的に昨年度よりも好意的評価の割合が高くなっている様子がみられ、保護者の皆さんの期待に応えるよう改善しつつあるものと考えています。

有り難うございます。

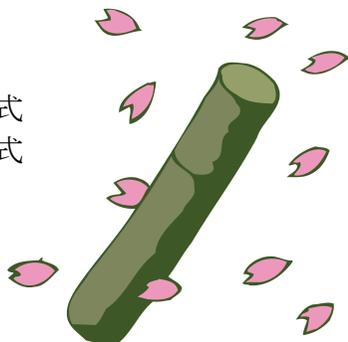
3月の行事予定

- 1日（金）6年生を送る会
- 4日（月）朝会
委員会活動
- 5日（火）振替日
- 8日（金）卒業式練習開始
- 15日（金）給食終了
- 18日（月）卒業式準備
- 19日（火）卒業証書授与式
- 20日（水）春分の日
- 25日（月）修了式
大掃除

- 26日（火）～4月7日（日）
春季休業日

4月の予定

- 8日 始業式
- 9日 入学式



6年生を送る会 1日（金）1・2校時

学校行事や委員会など様々な場面で、活躍してくれた6年生も、もうすぐ卒業です。各学年から心のこもった出し物やプレゼントを贈り、楽しい思い出を作ります。

振替日 5日（火）

3月は5日のみ1回だけの振り替えとなります。年度末です。残高不足にならないよう、前日までに必ず入金してください。よろしくお願いします。

卒業式 19日（火）

第139回卒業証書授与式を行います。73名が武庫小学校を巣立っていきます。

この日は、5年生が在校生代表で出席します。1～4年生は家庭学習です。家でお祝いしてください。

